2025 年度

SGT　活動レポート

Stained Glass Art
第 2 回

7 月 28 日（月）、中高選択者による Stained Glass Art の 2 回目が 4 階技術家庭科室で行われました。今回は、まず前回カットした色ガラスのピースを形に合わせてルーターを使って削り、整形します。削ってはテンプレートにセットし、ぴったりはまるように少しずつ削っていきます。次に各色ガラスのピースの周りにコッパーテープを巻いていきます。粘着材がついた銅箔のテープですが、これをラスキンと呼ばれるプラスチックの刷毛のような道具を使い、ガラスに圧着します。ガラスとガラスが隣り合う箇所からテープを巻き始めていき、最後は 5mm 程重ねて貼ります。次にコッパーテープにペーストを塗ります。ペーストは、牛脂・松脂・にかわで作られており天然素材を使ったものです。ここまでできたらはんだごてを使い、ガラスピースを交点に付けて点付けします。ハンダはガラスにはつかないため、このコッパーテープを巻いたガラスピースの接点にまず半田づけをします。これを点づけといいます。これが終わったら隣り合うガラスをそれぞれハンダ付けしていきます。全てのピースを半田で繋ぎ合わせたら今回の作業は終了です。

2 時間の作業時間の中でかわもと先生や 3 名のインストラクターの方々にお手伝いいただきながら生徒たちは、コッパーテープを巻き付けるところまで進めることができました。

次回は、8 月 28 日(木)です。最終回です。今回の作業で終わらなかった点づけとコッパーテープを貼った部分にハンダを盛りつけて固定していき、全体を組み上げていきます。完成が楽しみですね。

ルーターの使い方を見ながら説明を聞きます。

準備ができたら作業開始です。

ガラスの表と裏を見分けるためナンバーをマジックで書きます。

インストラクターの方からアドバイスをいただきます。

ひとつずつ丁寧に削っていきます。

欠席した生徒についてはかわもとにお手伝いいただきました。

インストラクターの方にアドバスをいただきながら削ります。

重なっている箇所をマジックでなぞり少しずつ慎重に削ります。

コッパーテープの貼り方について説明を聞ききます。

コッパーテープを貼っていきます。

ラスキンを使い、圧着していきます。

コッパーテープを 3 枚のガラスに巻き付けました。